幸せはみているだけで伝わる

モロッコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。 このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。 そのため、作者また

幸せはみているだけで伝わる【小説タイトル】

N N 9 7 F 8 N

【作者名】

モロッコ

相変わらず駄文ですが、 今回は客観的にりんごさん目線で行こうと思います。 オオカミさんと七人の仲間たちより涼子×亮士です。 【あらすじ】 最近これが多いですね。 お付き合い願います。 また書いちゃいました。

(前書き)

相変わらずの駄文ですが、お付き合い願います。 あらすじの通り、今回はりんごさん目線で涼子×亮士です。

幸せってひとそれぞれですよね?

自分と誰かが幸せであったり、 人のために汗水たらして働いて幸せ

を感じたり。

ホントにたくさんなると思いますの。

過ごしている私も自然と頬を綻ばせてしまいますの。 照れている二人を見てると、いつもからかいたくなったり。 幸せそうに過ごしている涼子ちゃんと森野君を見ていると、 るような気分になりますの。 二人の世界を展開していると、 それは見ていて幸せを感じることだって同じことだと思いますの。 二人の幸せがこちらまで伝わってく

これっておかしいことですの?

私も正直、二人の幸せを分けていつもニコニコしているんですのよ?

ほら、 また二人の世界が展開していますのよ?

「涼子さん、 今日なんか調子悪いんスか?」

ん?なんでお前はそう思うんだ?」

いや、 いつもよりも涼子さんの顔色が悪いから.

そうか?俺はそんな気はしないけど..

ちょっと確かめるッス。

え.. ?!」

森野君のおでこが涼子ちゃんのおでこにくっついていますの。

「ちょ、おまっ!!////」

「うん、熱はないみたいッス。よかったスね」

「そ、そうだけど・・・!///」

まさか不治の病に?!大丈夫ッスか?!」 「あれ?なんで涼子さん、そんなに顔を真っ赤に?

「お、落ち着けって亮士...」

「ど、どうしたら...」

「落ち着けって!

俺の目を見ろ!!」

「...はいッス...」

「ジー…」

涼子ちゃんが安心しろと言わんばかりの瞳で見つめ、森野君は不安 二人とも、心情が手に取るくらいわかりやすい表情で、 で不安でたまらないような瞳で互いを見つめているんですの。 んですの~ 可愛すぎる

「 亮士、俺は大丈夫だから...」

「で、でも…?!」

森野君が言い終える前に、 これが世間一般に言う、キスって言うやつですの 涼子ちゃんに遮られちゃったんですの。

「り、涼子さん?!////」

「ほら、今度はお前の顔が赤くなった。

「そ、それは涼子さんが... / / / 」

「お前も今と似たようなことをやったんだよ、 俺に。

「そ、そうだったんスか...」

「そつ。

しいて病名を言うなら...」

「「恋病 だな(ッスね)」

八モッたな。」

「そうッスね。」

「クスクス...」」

あぁ、 こんな二人を見ているだけで幸せになるって... なんて幸せなひと時なんでしょうか。

私の求める幸せは案外薄っぺらいものかもしれませんの。

でも、私はこれで十分なんですの。 この二人を見ていることが、私の思う幸せなのだから。

最後にもう一度。

幸せって、人それぞれですよね?

(後書き)

また感想等、よろしくお願いします。どうでしたか?

PDF小説ネット発足にあたって

ビ対応 行し、 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きインター 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 の縦書き小説 ています。 そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 タテ書き小説ネッ ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 は 2 0 存書籍 タイ いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n9798n/

幸せはみているだけで伝わる

2010年10月9日16時13分発行